山県市の新しい玄関口が完成 山県IC開通

2018年12月

2017年4月

2019年4月

2018年4月

3月20日、待ちに待った山県ICが開通しました。

新たな玄関口となるICの開通により、アクセスの向上や企業立地の促進、交流人口の増加など、さまざまな効果が見込まれます。

特集では、開通までを振り返りながら、山県ICがもたらす効果についてお知らせします。

問建設課　TEL22-6832

2020年3月

効果1 アクセスの向上

令和8年度に見込まれる全線開通により、関東圏、関西圏、名古屋圏など各方面からのアクセスが向上します。それにより、通勤時間の短縮や、お出掛けの選択肢が広がります。

また、現在ICを生かした新しいまちづくりの一環として、バスターミナルの建設を進めています。

効果2 企業立地の促進

アクセスの向上により、多くの企業進出が見込まれます。

東海環状自動車道と東海北陸自動車道の合流地点にほど近く、関東圏、関西圏、名古屋圏など各方面からの優れた交通アクセスにより、物流が活発となり新たな企業進出が期待されます。

効果3 交流人口の増加

各方面からのアクセスが向上することで、より多くの観光客の来訪が期待されます。

また、市内へのアクセス方法の多様化により、交流人口の増加も見込まれます。

国道418号バイパスも開通しました

富永地区の国道418号バイパスが3月26日に開通しました。

▼**場所**　富永地内（畑野～水品）

▼**延長**　875m

▼**幅員**　11m（2車線、片側歩道）

問 県岐阜土木事務所道路課 TEL 058-215-0092

問 建設課 TEL 22-6832